

五時頃近坐り込ミテ強要セル為メ合弁護士ハ向テ五日以内
ニ工場主ヲ探索シ争議国代表トノ合見ノ傍ヲ探ルヘク約シ
タル為メ一同無事帰国セリ

又争議国側ハ六月二十五日ゴリラヲ画キ「勝ヲ争ヒ安ヲ賦成ス」
ト記テセル半紙大印刷物約三百枚ヲ作成シ州近民家ニ配布
セリ

二 交渉状況

工場主代理人小金井弁護士ハ争議国代表トノ口約ニヨリ探索
ノ結果工場主ノ所立判明スルニ至レルヲ以テ六月二十六日望
ニ十七日自宅ニ於テ鈴木工場主カ合見スル旨ヲ争議国本部ニ
通知シタル為メ全日午後一時五十分ヨリ終同早東京鉄工組合
比行委員井坂繁胤斎藤争議国長鈴木明重外六名ハ小金井弁
護士方ニ於テ鈴木工場主ト合見シ傍觀工場主ヨリ自今ハ将来
既工場ヲ經營スルヲ得ルヲ以テ一切ヲ却却ニ居ラル

ル小金井弁護士ニ一信ニ致シテ「夫レハ吾ノ心死シ
カケテコトハ申訳ナシト述ベルヤ斎藤徳ヨリ「守ク汝ニヨレ
ハ上方見物トヤラニ引ツテ居タト」コトナルヲ何処ニ居タカ
ト後曰ヒタル為メ工場主ハ突然大産ヲ發シ強注スルニ至リタ
ルヲ以テ危合セタル技藝政五郎ハ別室ニ遣レ去リタルカ別室
ニ於テ暴倒セルヲ以テ何等ノ進展ヲ見スニテ小金井弁護士ヨ
リ今後ノ合見ヲ約シテ一ト先打手切レリ

右及申(通)報候也